

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会	主 査 名：濱田幸雄 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (音環境運営委員会)	委員長名：持田 灯 主 査 名：羽入敏樹
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線，在来線から発生する音を統一的に測定する方法として，A 特性音圧レベルより騒音暴露レベルを算出，さらに等価騒音レベルを最終的評価量とする方法を提案する。 ・集合住宅の床衝撃音レベル，室間音圧レベル差の評価尺度は，居住空間の騒音レベルに影響されることから，室内騒音レベルを加味した遮音性能評価手法を提案することを目的とする。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 主査：濱田幸雄 (日大・工) 幹事：岩本毅 (三井住友建設) 委員：大内孝子 (建設環境研究所)、大脇雅直 (熊谷組)、古賀貴士 (鹿島建設)、須賀昌昭 (住宅リフォーム・紛争処理支援センター)、坪井政義 (大林組)、浜田由記子 (大成建設)、向井達郎 (OTO 技術研究所)、松田貫 (BL 建設株式会社)、植村友昭 (鴻池組)	
設置 WG (WG 名：目的)	無	
2020 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	1. (名称) 参加者数 —— 名 —— (資料名) ——
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 集合住宅の外壁，窓の遮音設計及び室内発声音の評価方法を確立するために，都内，及び地方鉄道において実騒音の計測，録音を行った。 2. 録音データの解析を行い，聴感実験用音源の作成を行った。オンラインでの委員会開催，新型コロナ感染防止対策が求められる中での聴感実験実施は控えることとした。
委員会活動の問題点・課題	新型コロナ感染防止対策が求められる中で、小委員会活動を継続的，発展的に行うための手法の共有が必要と思われる。

2020 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・~~最終年度評価~~)

総合評価 (4段階評価)	A B C D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 集合住宅の外壁、窓の遮音設計のための測定量及び室内発生音の評価方法を確立するために、都内、及び地方鉄道を対象に実騒音の追加計測、録音を行った。 2. 録音データの解析を行い、聴感実験用音源の作成を行った。オンラインでの委員会開催、新型コロナ感染防止対策が求められる中での聴感実験実施は控えることとした。 3. 暗騒音を考慮した室間音圧レベル差、床衝撃音レベルの要求性能の検討に関して、集合住宅居住者の要求遮音性能水準の調査方法の具体的な内容を検討した。また、変動する暗騒音下において、外部で発生して室内に透過する騒音の評価の仕方についても情報を交換することができた。 4. 新型コロナウイルス感染症流行の影響による開催回数が減少し、3月開催予定を含め2回となったことにより、室内騒音レベルを加味した遮音性能評価手法の検討工程に遅れが生じた。

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。